

令和7年度 一般財団法人松本市芸術文化振興財団 事業報告書 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

第1 財団運営の総括

1 会議の開催状況

年月日	名称	提出議案等
7.4.1	第1回理事会(書面決議)	・評議員会の招集及び常務理事の選任について
4.1	第1回評議員会(書面決議)	・理事の選任及び評議員の辞任について
6.20	第2回理事会	・評議員の選任及び任期満了に伴う理事の選任について ・令和6年度事業報告及び決算報告について ・評議員会の招集について
6.25	第2回評議員会	・評議員の選任及び任期満了に伴う理事の選任について ・令和6年度事業報告及び決算報告について
10.7	第1回評議員・理事・監事合同会議	・令和7年度中間事業報告について
12.23	第2回評議員・理事・監事合同会議	・令和8年度事業概要について ・芸術監督団 団長から 令和8年度の活動等について
8.3.18	第3回理事会	・令和7年度収支補正予算(第1号)について ・令和8年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の招集について
3.24	第3回評議員会	・令和7年度収支補正予算(第1号)について ・令和8年度事業計画及び収支予算について ・芸術監督団から 令和7年度の振り返り及び令和8年度の活動について

2 所管業務

令和7年度は、引き続き松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設2館、文化芸術施設3館の管理運営を行いました。

施設ごとに運営目標を定め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場の提供により文化芸術活動の推進に努めました。また、自主事業については 各施設の強みを生かした事業を実施するとともに、地元にはゆかりのある出演者による公演や芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演などを幅広く行うことで、市民に親しまれる館運営を行いました。

教育、福祉、観光など、あらゆる分野で文化芸術の力が活用されるよう様々な分野と連携し、地域活性化や観光振興に寄与するよう努めました。

3 財団の組織強化

(1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に執り行うため、引き続き税理士などの専門家から支援を受け、職員のコンプライアンス意識の高揚とコスト意識向上を徹底しました。

事業の実施にあたっては、事業収入の向上や補助金などの活用により、事業の充実を図り、健全な運営を行いました。

(2) 財団改革

適正かつ効率的な組織とするため、職員数、給与等の適正化や業務内容に相応しい人材の確保に努めました。

各種労働関係法に適切に対応するために社会保険労務士のアドバイスを受けるとともに人事評価制度、賃金制度、退職金制度の見直しをしました。

(3) 連携強化

令和5年度から、文化芸術施設3館の一括での指定管理受託をしており、館同士の連携を図ることができています。導入しているグループウェアを利用し、より一層の情報共有を図るとともに、組織全体でのコンプライアンス研修を実施するなど、財団一体での取組みを行いました。また、施設間のみならず、様々な分野で活動している団体や企業、文化施設との連携を深め、文化事業の充実を図る事業を展開するなど、新たな鑑賞者層の拡大に努めました。

4 職員体制

令和8年3月31日

単位：人

施設等	区分	全体統括者	人数	事務的・技術的責任者	人数	企画・調整職	人数	一般職	人数	計
事務局	市	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1			3
	財団							一般事務	2	2
	計		1		1		1		2	5
アート事業部	財団	事業部長	(1)			事業部次長	(1)			
松本市美術館	市			副館長	1	副館長補佐	2	主事	1	4
	財団					ショップ店長	1	一般事務	1	2
	計				1		3		2	6
松本市梓川アカデミア館	市			館長（美術館副館長兼務）	(1)	館長補佐（美術館副館長補佐兼務）	(2)	主事（美術館主事兼務）	(1)	
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
松本市音楽文化ホール	財団	館長	1	館長補佐		係長	1	一般事務 企画制作	5 1	8
	計		1				1		6	8
まつもと市民芸術館	財団	芸術監督団	(3)	館長補佐	1	プロデューサー	1	一般事務	4	
	財団	館長	1			係長	3	企画制作 舞台技術	3 7	20
	計		1		1		4		14	20
松本市波田文化センター	財団	館長	1			係長	1	一般事務	1	3
	計		1				1		1	3
合計	市		1		2		3		1	7
	財団		3		1		7		26	37
	計		4		3		10		27	44

第2 各施設の事業報告

1 アート事業部

1 基本目標

松本市と連携して市民やアーティストの芸術文化活動の促進を図るとともに、日常生活の中で文化芸術に触れる機会を増やし、街に魅力と賑わいを創出することを目指します。

そのためのアートと社会をつなぐ中間組織として、市民等の芸術文化活動に関する相談・支援窓口機能の充実強化を図ります。

2 令和7年度の実施の成果

(1) 東アジア文化都市事業

「演劇・音楽・舞踊」部門のディレクター事業において、日中韓の3国の歴史を文化・芸術を窓口に掘り下げるレクチャーシリーズの第1回をプレイベントとして行いました。

その他、アート事業部コーディネーターが中心となって、事業全般のトータルコーディネートを行いました。

ア ディレクター事業

3つのあわいで考えるディープレクチャー	<内容> 明治期の歌舞伎に描かれていた中国をとり上げ、当時の日中の関係を掘り下げたレクチャー。高校生、大学生と2回の勉強会を行い、学生たちが、当日配布するレクチャーのキーワードを集めた用語集を作製。
---------------------	---

イ トータルコーディネート

トータルコーディネーター業務	<内容> ・「いただきます手帖」作製 ・ロゴ、プロモーションムービーの作製 ・その他、イベントへの参加、関連シンポジウムの開催などを通じた広報PR事業
----------------	---

(2) まちなかアートproject

アーティストバンクについては、市内の4イベントへの参加につなげました。

また、事業の所管が令和8年度中に実行委員会からアート事業部に移行することを踏まえ、ホームページやアーティストバンクの方向性について協議を行いました。

(3) 松本市PR事業

松本市のマスコットキャラクター アルプちゃんの着ぐるみを、各種団体、市民活動グループ及び企業等が主催するイベントに貸し出しました。

【令和7年度貸出実績】	
通常のア alpちゃん	38件
甲冑alpちゃん	28件

第2 各施設の事業報告

Ⅱ 松本市美術館

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が公立の施設であることを十分認識し、利用者サービスの向上及び施設の適切な維持管理に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」《鑑賞・表現・学習・交流の場》を踏まえた施設の管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》	美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会の充実
《表現の場》	市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成
《学習の場》	生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境づくり
《交流の場》	美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実

2 令和7年度の重点的な取組みの成果

- (1) 来館者サービス・施設管理業務
お客さまが気持ちよく施設を利用することができるよう、ホスピタリティ(おもてなし)や利便性の向上に努めました。
- (2) ミュージアムショップ運営業務
常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、展覧会、イベントなどに連動した企画・販売や所蔵品、所蔵作家や地域をテーマとした企画・販売を行い、2億円以上の売り上げを達成しました。
- (3) 環境整備
施設の適正な維持保全を通じて、来館者の満足に結びつく環境づくりに努めました。また、災害時の避難誘導体制などの強化として、火災の発生を想定した避難訓練を行いました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケートなど利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めました。(アンケート回答者:593人)
- (2) 美術館の魅力を大勢の方に伝えるべく、下記のとおり広報活動を行いました。
「&Premium」「第11回ぐるっと松本カーリラー」へ広告掲載

施設利用状況

1 観覧者数 開館日数 310日

区 分		7年度	6年度	前年度対比	
				増 減	増減率
有 料	個 人	233,045 ^人	191,074 ^人	41,971 ^人	22.0 [%]
	団 体	7,044	7,473	△ 429	△ 5.7
	計	240,089	198,547	41,542	20.9
無 料		51,691	36,739	14,952	40.7
合 計		291,780	235,286	56,494	24.0

2 施設別利用状況

区 分		7年度	6年度	前年度対比	
				増 減	増減率
市民 ギャラリー	利用日数	231 ^{日/%}	243 ^{日/%}	△ 12.0 ^{日/ポイント}	△ 4.9 [%]
	利用可能日数	310	311	△ 1.0	△ 0.3
	利用率	74.5	78.1	△ 3.6	
講座室・ 市民アトリエ	利用日数	187	173	14.0	8.1
	利用可能日数	310	311	△ 1.0	△ 0.3
	利用率	60.3	55.6	4.7	
多目的 ホール	利用日数	166	121	45.0	37.2
	利用可能日数	323	311	12.0	3.9
	利用率	51.4	38.9	△ 1.4	

※多目的ホール 利用日数及び利用可能日数の内72日はサンリオ展特設ショップ

3 施設利用者数

区 分	7年度		6年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
市民ギャラリー等	64 ^件	69,853 ^人	63 ^件	79,485 ^人	1 ^件	△ 9,632 ^人	△ 12.1 [%]
講座・講演会・コンサート等	286	4,924	286	5,299	0	△ 375	△ 7.1
合 計	350	74,777	349	84,784	1	△ 10,007	△ 11.8

4 利用料金収入【参考】

区 分	7年度	6年度	前年度対比	
			増 減	増減率
施設使用料	4,635,150 ^円	4,674,990 ^円	△ 39,840 ^円	△ 0.9 [%]

1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和7年度の重点的な取り組みの成果

- (1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携しながら管理運営を行いました。
- (2) 施設利用者の満足度向上を目指し、親切・丁寧な対応を心がけました。
- (3) 施設全体を清潔な状態に保ち、利用者に気持ち良くご利用いただくため、館内の美化に努めました。
- (4) 貸室展示の看板やチラシのデザインを工夫し、来館者の目を引く広報を行うことで、集客向上に努めました。
- (5) 未就学児向け、小・中学生向け、大人向けの各種ワークショップを開催し、幅広い年代の方に楽しんでいただきました。
- (6) 企画展にあわせて学芸員と作家によるギャラリートークを開催し、来館者から好評をいただきました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規利用につなぐきっかけとなるよう働きかけました。「みんなのアトリエ」は地域の方々の発表の場として、7年度は12件の利用がありました。
- (2) 地域の解説ボランティア5名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで、交流促進や高齢者の生きがいづくりにつながりました。
- (3) 幅広い年齢層を対象に開催したワークショップでは、伝統文化や、専門的な知識・技術を学び、美術・施設に関心を持っていただく機会づくりとなりました。
- (4) 広報誌「アカデミア館便り」を発行し、主に梓川地区・波田地区に配布。また、プレスリリースによるマスコミへの情報発信や発送先の選別により効果的な周知に努めました。
- (5) 幅広い年齢層を対象としたワークショップを各種開催し、好評をいただきました。学都松本推進事業の一環として開催した、未就学児を対象とした連続講座「アートのABC」は盛況で即日予約が埋まりました。同じく、昆虫標本作りや布ぞうりづくり講座も予約が即日埋まる盛況ぶりでした。

施設利用状況

1 観覧者数

開館日数 308日

区 分		7年度	6年度	前年度対比	
				増 減	増減率
常設展・ コレクション展	有 料	人 746	人 819	人 △ 73	% △ 8.9
	無 料	1,230	1,192	38	3.2
	計	1,976	2,011	△ 35	△ 1.7
企画展		6,907	4,159	2,748	66.1
合 計		8,883	6,170	2,713	44.0

2 施設別利用状況

区 分		7年度	6年度	前年度対比	
				増 減	増減率
ギャラリー	利用日数	日/% 185	日/% 173	日/ポイント 12.0	% 6.9
	利用可能日数	308	307	1.0	0.3
	利用率	60.1	56.4	3.7	
第2ギャラリー	利用日数	178	209	△ 31.0	△ 14.8
	利用可能日数	308	307	1.0	0.3
	利用率	57.8	68.1	△ 10.3	
アクセス ギャラリー	利用日数	177	212	△ 35.0	△ 16.5
	利用可能日数	308	307	1.0	0.3
	利用率	57.5	69.1	△ 11.6	
屋外施設	利用日数	7	7	0.0	0.0
	利用可能日数	308	307	1.0	0.3
	利用率	2.3	2.3	0.0	

3 施設利用者数

区 分	7年度		6年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
ギャラリー・第2ギャラリー	件 31	人 12,883	件 36	人 9,666	件 △ 5	人 3,217	% 33.3
アクセスギャラリー	13	8,521	14	8,960	△ 1	△ 439	△ 4.9
屋外施設	1	980	1	628	0	352	56.1
主催事業等	6	208	7	289	△ 1	△ 81	△ 28.0
合 計(延べ人数)	51	22,592	58	19,543	△ 7	3,049	15.6

4 利用料金収入【参考】

区 分	7年度	6年度	前年度対比	
			増 減	増減率
施設使用料	円 548,550	円 482,020	円 66,530	% 13.8

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞などのための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ、管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し、世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生などを対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会などを開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体などへの活動支援や積極的な育成援助を行います。

2 令和7年度の重点的な取組みの成果

- (1) ホール開館40周年記念事業を多数企画し、招聘型鑑賞事業、地域音楽団体協創事業、市民参加型事業のいずれの分野でも好評を博しました。また、収支面でもバランス良く運営することができました。主催事業では7公演で満席となり、多彩な世代に様々な音楽を楽しんでいただきました。

また、共催公演や貸館公演でも満席公演が増え、地域の音楽文化の継承・発展に繋がられました。

- (2) チケットWebシステム「gettii」の導入から1年が経ち、Webからチケットを購入する層も増加しました。購入において利便性が高くなったことにより、集客の増加に繋がっています。
- (3) 令和6年度に続きオルガン事業が好調・好評で、コンサートやこれまでの講習会に加え、マスタークラスや初心者向けの1日限りの講習会を実施し多様なニーズに応える事業を展開できました。またCD録音を行い、内外に向けてホールのオルガンの魅力をアピールすることができました。

3 利用促進対策の成果

- (1) ホール利用料金の改定に伴い、親切・正確な案内に努めました。小ホールは休日利用に加え平日の練習やイベント開催の需要も増加し、令和7年度は98.6%の利用率となりました。
- (2) ホームページ等での利用案内をより充実させました。練習室は市民音楽団体だけでなく個人での利用も増加しました。また、ロビー等の設備を一部更新し、利便性の更なる向上を目指しました。
- (3) ホール開館40周年に伴い、ホームページ、SNS、情報誌だけでなくメディア等に積極的に掲載いただき、ホールの認知度向上に努めました。また、オルガン事業をより多彩に展開すべく、他地域のホールを積極的に見学し、オルガン設置40周年、オーバーホールに向けたオルガン管理・事業の調査を進めました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分		7年度	6年度	前年度対比	
				増 減	増減率
メインホール	利用日数	日／% 268	日／% 228	日／ポイント 40.0	% 17.5
	利用可能日数	277	260	17.0	6.5
	利用率	96.8	87.7	9.1	
小ホール	利用日数	282	288	△ 6.0	△ 2.1
	利用可能日数	286	298	△ 12.0	△ 4.0
	利用率	98.6	96.6	2.0	
練習室	利用日数	276	279	△ 3.0	△ 1.1
	利用可能日数	286	299	△ 13.0	△ 4.3
	利用率	96.5	93.3	3.2	

※R6＝メインホールは改修工事のため2/17～3/31まで閉館

※R7＝施設内外照明のLED化に伴う工事保守

2 来館者数

／メインホール：12日間、小ホール：11日間、練習室：12日間

区 分	7年度		6年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
メインホール	741	54,453	591	42,825	150	11,628	27.2
小ホール	782	18,156	775	15,870	7	2,286	14.4
練習室	1,818	13,063	1,707	10,515	111	2,548	24.2
合 計	3,341	85,672	3,073	69,210	268	16,462	23.8

3 利用料金収入

目 標	利用料金収入	18,300,000 円
-----	--------	--------------

区 分	7年度	6年度	前年度対比	
			増 減	増減率
ホール利用料	円 6,606,205	円 5,308,585	円 1,297,620	% 24.4
練習室利用料	2,111,475	2,137,270	△ 25,795	△ 1.2
設備利用料	10,141,410	9,331,800	809,610	8.7
合 計	18,859,090	16,777,655	2,081,435	12.4

<オルガンオーバーホール>＊メインホールのみ4か月休館

区分	令和8年度												令和9年度			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	…
メインホール													オルガン設置 40周年記念事業 (予定)			
小ホール																
練習室																

＊小ホール、練習室は通常通り開館

V まつもと市民芸術館

1 基本目標

まつもと市民芸術館管理運営方針に定める「目指す姿」達成のため、次の項目（運営の柱）を掲げ、管理・運営を行うこととします。

(1) 目指す姿

誰もが文化芸術に親しみ、創造できる環境を整えることにより、市民の心の豊かさを育むとともに、まちの賑わいにつなげます。

(2) 運営の柱

- ア 質の高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- イ 市民の芸術文化の創造を支援し、交流・発表の場とします。
- ウ 次代を担う子どもたちに必要な力を養う場とします。
- エ 松本のまち全体に活気をもたらす場とします。
- オ 多様な人材によるスタッフの雇用に努めます。

2 令和7年度の重点的な取組みの成果

- (1) 芸術監督団のもと、「ひらいていく劇場」をコンセプトに、監督それぞれの個性や特色を生かした公演など、松本ならではの事業を実施しました。
- (2) 様々なジャンルの作品の幅広い年齢層へ提供に努め、大規模改修に伴い主ホールが閉じる前には、市民等に関心の高い公演を招聘しました。
- (3) 地域の障がい者団体と連携して、字幕サービス、音声補聴サービス、手話通訳などを本格導入した公演を実施するなど、障がいの有無に関わらず作品を快適に鑑賞できるようアクセシビリティの強化を図りました。
- (4) 中高生・市民を対象とした様々なワークショップや高校演劇講習会などを通じて、若い世代をはじめとした幅広い世代が芸術文化活動に参加する機会の提供と人材育成に努めました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 大規模改修工事が始まり、主ホールが10月から閉じる中、市民等からの問い合わせ等に対しては、利用できる施設の周知・案内に努めました。結果として、全ての施設において利用率は昨年度を上回りました。

※松本市による第2期大規模改修工事スケジュール

区分	令和7年度												令和8年度												令和9年度			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	…
主ホール																												
小ホール																												
オープンスタジオ																												

リニューアル

- (2) 観光コンベンション協会など関係団体と連携し、文化芸術からコンベンション利用まで幅広い受け入れを行いました。
- (3) 7年度は、高校の探究の時間、大学のインターン生の受け入れはなく、中学の職場体験も2校6名参加にとどまりましたが、将来の利用促進につながる、若い世代が芸術文化や芸術館への理解を深めていただく一助になったものと捉えています。

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分			7年度	6年度	前年度対比	
					増 減	増減率
主ホール	利用日数	自主事業	日／％ 40	日／％ 67	日／ポイント △ 27.0	％ △ 40.3
		貸館(市主催)	45	33	12.0	36.4
		貸館(一般)	54	113	△ 59.0	△ 52.2
	利用日数		139	213	△ 74.0	△ 34.7
	利用可能日数		149	302	△ 153.0	△ 50.7
	利用率		93.3	70.5	22.8	
小ホール	利用日数	自主事業	44	48	△ 4.0	△ 8.3
		貸館(市主催)	52	26	26.0	100.0
		貸館(一般)	140	150	△ 10.0	△ 6.7
	利用日数		236	224	12.0	5.4
	利用可能日数		293	310	△ 17.0	△ 5.5
	利用率		80.5	72.3	8.3	
オープンスタジオ	利用日数	自主事業	92	88	4.0	4.5
		貸館(市主催)	54	39	15.0	38.5
		貸館(一般)	74	81	△ 7.0	△ 8.6
	利用日数		220	208	12.0	5.8
	利用可能日数		322	330	△ 8.0	△ 2.4
	利用率		68.3	63.0	5.3	
スタジオ2	利用日数	自主事業	128	72	56.0	77.8
		貸館(市主催)	47	24	23.0	95.8
		貸館(一般)	51	62	△ 11.0	△ 17.7
	利用日数		226	158	68.0	43.0
	利用可能日数		328	329	△ 1.0	△ 0.3
	利用率		68.9	48.0	20.9	
スタジオ3	利用日数	自主事業	58	28	30.0	107.1
		貸館(市主催)	49	36	13.0	36.1
		貸館(一般)	72	80	△ 8.0	△ 10.0
	利用日数		179	144	35.0	24.3
	利用可能日数		326	329	△ 3.0	△ 0.9
	利用率		54.9	43.8	11.1	
スタジオ4	利用日数	自主事業	36	14	22.0	157.1
		貸館(市主催)	47	31	16.0	51.6
		貸館(一般)	73	65	8.0	12.3
	利用日数		156	110	46.0	41.8
	利用可能日数		328	329	△ 1.0	△ 0.3
	利用率		47.6	33.4	14.1	
M2会議室	利用日数	自主事業	79	31	48.0	154.8
		貸館(市主催)	37	43	△ 6.0	△ 14.0
		貸館(一般)	80	81	△ 1.0	△ 1.2
	利用日数		196	155	41.0	26.5
	利用可能日数		323	329	△ 6.0	△ 1.8
	利用率		60.7	47.1	13.6	

2 来館者数

区 分			7年度		6年度		前年度対比		
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
主ホール	音楽系	クラシック	2	22,394	15	38,510	△ 13	△ 16,116	△ 41.8
		ポピュラー	4		9		△ 5		
		邦楽	0		2		△ 2		
		その他	4		7		△ 3		
		オペラ	6		3		3		
	芸能系	ミュージカル	1	27,269	1	29,251	0	△ 1,982	△ 6.8
		演劇	5		21		△ 16		
		古典芸能	1		8		△ 7		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	5	2,057	8	3,262	△ 3	△ 1,205	△ 36.9
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	17	8,099	36	17,186	△ 19	△ 9,087	△ 52.9
計			45	59,819	110	88,209	△ 65	△ 28,390	△ 32.2
小ホール	音楽系	クラシック	17	4,525	22	5,530	△ 5	△ 1,005	△ 18.2
		ポピュラー	3		8		△ 5		
		邦楽	4		3		1		
		その他	10		8		2		
	芸能系	演劇	15	3,094	9	4,775	6	△ 1,681	△ 35.2
		古典芸能	5		5		0		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	8	1,604	4	567	4	1,037	182.9
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	53	7,701	74	7,774	△ 21	△ 73	△ 0.9
計			115	16,924	133	18,646	△ 18	△ 1,722	△ 9.2
スタジオ・会議室			-	20,066	-	12,726	-	7,340	57.7
見学他			-	37,247	-	47,601	-	△ 10,354	△ 21.8
合 計			160	134,056	243	167,182	△ 83	△ 33,126	△ 19.8

3 利用料金収入

目 標	利用料金収入	26,320,000 円
-----	--------	--------------

区 分	7年度	6年度	前年度対比	
			増 減	増減率
利用料金	円 27,706,990	円 35,497,280	円 △ 7,790,290	% △ 21.9

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用ができる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチなどを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体などの活動援助をする一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 令和7年度の重点的な取組みの成果

- (1) 子ども向けのサーカス企画においては、障がいのある人もない人も一緒に楽しめる公演を目指しました。鑑賞サポートとして、最前列で鑑賞するための車椅子移動対応、手話通訳等を実施しました。周知活動の幅を広げたことで、アクトホール1階席と2階立見席のすべてが満席となりました。
- (2) はた映画上映会では、中高齢層を対象とした作品を上映していますが、第25回上映会では、夏休み企画として、子ども連れでも楽しめる作品を含めた様々なジャンルの4作品を2日間にわたり上映しました。
また、第26回上映会では、監督、主演俳優のアフタートークを行い来場客と交流する機会をつくりました。
- (3) ピアノを使った市民参加企画は前年度より多くの参加者があり、地域のピアノ教室、愛好家との交流を深めることができました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 貸館利用予約の変更やキャンセルなどに柔軟に対応し、利用しやすくなるよう対応しました。
利用後には利用報告書を提出いただき、感想や要望などの改善に取り組みました。
- (2) 展望室を、利用の無い日に限り一般開放していることが広く周知され近隣保育園が施設見学に展望室を訪れることがあり、施設に関心をもってもらう機会が増えました。
- (3) 館内空調設備を使う練習室について、練習室用に個別ファンヒーターを置くことで全館空調設備の負担を減らして、利用者にとっても扱いやすい設備にしました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分		7年度	6年度	前年度対比	
				増 減	増減率
アクトホール	利用日数	日／％ 99	日／％ 92	日／ポイント 7.0	％ 7.6
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	35.0	32.5	2.5	
練習室	利用日数	155	148	7.0	4.7
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	54.8	52.3	2.5	
第1会議室	利用日数	27	24	3.0	12.5
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	9.5	8.5	1.1	
第2会議室	利用日数	63	45	18.0	40.0
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	22.3	15.9	6.4	
第3会議室	利用日数	176	155	21.0	13.5
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	62.2	54.8	7.4	
ハイビジョンシアター	利用日数	20	11	9.0	81.8
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	7.1	3.9	3.2	
展望室	利用日数	12	3	9.0	300.0
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	4.2	1.1	3.2	
ギャラリー	利用日数	74	171	△ 97.0	△ 56.7
	利用可能日数	283	283	0.0	0.0
	利用率	26.1	60.4	△ 34.3	

2 来館者数

区 分	7年度		6年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
アクトホール	117	9,377	105	9,105	12	272	3.0
練習室	183	1,949	178	1,911	5	38	2.0
第1会議室	29	530	25	245	4	285	116.3
第2会議室	65	483	46	263	19	220	83.7
第3会議室	174	1,500	155	1,112	19	388	34.9
ハイビジョンシアター	21	212	11	134	10	78	58.2
展望室	12	1,379	3	845	9	534	63.2
ギャラリーほか	3	343	6	2,111	△ 3	△ 1,768	△ 83.8
合 計	604	15,773	529	15,726	75	47	0.3

3 利用料金収入

目 標	利用料金収入	3,400,000 円
-----	--------	-------------

区 分	7年度	6年度	前年度対比	
			増 減	増減率
施設利用料	1,688,870 ^円	1,206,860 ^円	482,010 ^円	39.9 [%]
設備利用料	2,316,650	2,042,080	274,570	13.4
合 計	4,005,520	3,248,940	756,580	23.3